

デジタル広告の取引実態に関する 消費者向けアンケート調査分析結果

＜オプトアウト設定及び利用規約の内容等の認知状況に関する詳細分析結果＞

目次

- 概要 3
- オプトアウト設定の認知状況に関するアンケート分析結果 5
- 利用規約の内容等の認知状況に関するアンケート分析結果 9

概要

以下では、デジタル・プラットフォーム事業者の取引慣行等に関する実態調査(デジタル広告分野)について(中間報告)(令和2年4月28日公表)の際に行った消費者に対するアンケート調査結果¹を基に、オプトアウト設定の認知度について詳細を調査するため、及び利用規約を読むことによって利用規約の内容等への認知がどの程度変わるのかを調査するため、収集される情報への認知とオプトアウト設定の認知の関係、各サービスの利用規約の認知と各サービスを利用する際に収集・利用される情報等への認知の関係についてクロス集計表を用いて分析を行った。

また、各クロス集計表についてカイ二乗検定及び残差分析を行い、回答間にどのような連関があるかを分析した。

分析の結果として、①広告表示の目的の下に収集・利用されている情報を認識している利用者でさえ、約半数がオプトアウト設定について(詳しくは)知らないこと、及び②検索サービス及びSNSサービスそれぞれについて、利用規約を「読んでいる」と回答した人は(a) 情報提供の事実、(b) 広告表示目的の情報収集・利用、(c) 収集される情報の内容、(d) 第三者との情報共有、(e) 個人情報に紐づけられての使用、(f) 収集・利用される情報を把握した上での同意の6項目について、それぞれ認知・把握している割合が有意水準1%で高いことが明らかになった。

クロス集計表についてのカイ二乗検定は独立性の検定とも呼ばれ、掛け合わせた質問の回答に連関があるかを調べる統計的手法である。カイ二乗検定で有意であると判定された場合、横軸の質問に対する回答と縦軸の質問に対する回答は独立ではなく、何らかの連関があると解釈される。一方で、どのような連関が存在するかについてはカイ二乗検定からは明らかではない。そこで、カイ二乗検定で有意であると判定された場合には残差分析という手法を用いてどのような連関が存在するかを分析した。

1. (令和2年4月28日)デジタル・プラットフォーム事業者の取引慣行等に関する実態調査(デジタル広告分野)について(中間報告)別紙2を参照。

残差分析は、カイ二乗検定で有意である（連関がある）と判定された場合に、クロス集計表の各セルのうち、どのセルの値が有意に大きい（又は小さい）のかを調べる手法である。残差分析では、連関が無いと仮定した場合の各セルの値と実際の値の差（残差）が統計的に有意であるか否かを判定する²。残差分析によっていくつかのセルの値が有意に大きい（又は小さい）と判定された場合、それらのセルの値が偏っていたためにカイ二乗検定でクロス集計表が有意（連関がある）との結果になったと解釈することができる。なお、残差分析によっていくつかのセルの値が有意に大きい（又は小さい）と判定された場合でも、それをもって因果関係があるとまでは解釈できず、相関関係があるという解釈にとどまる。

カイ二乗検定及び残差分析で偏りがあるか否かを判定する水準（有意水準）は一般的に用いられている5%を基準とした³（より厳格な1%水準で有意と判定された結果については1%と表記している。）。

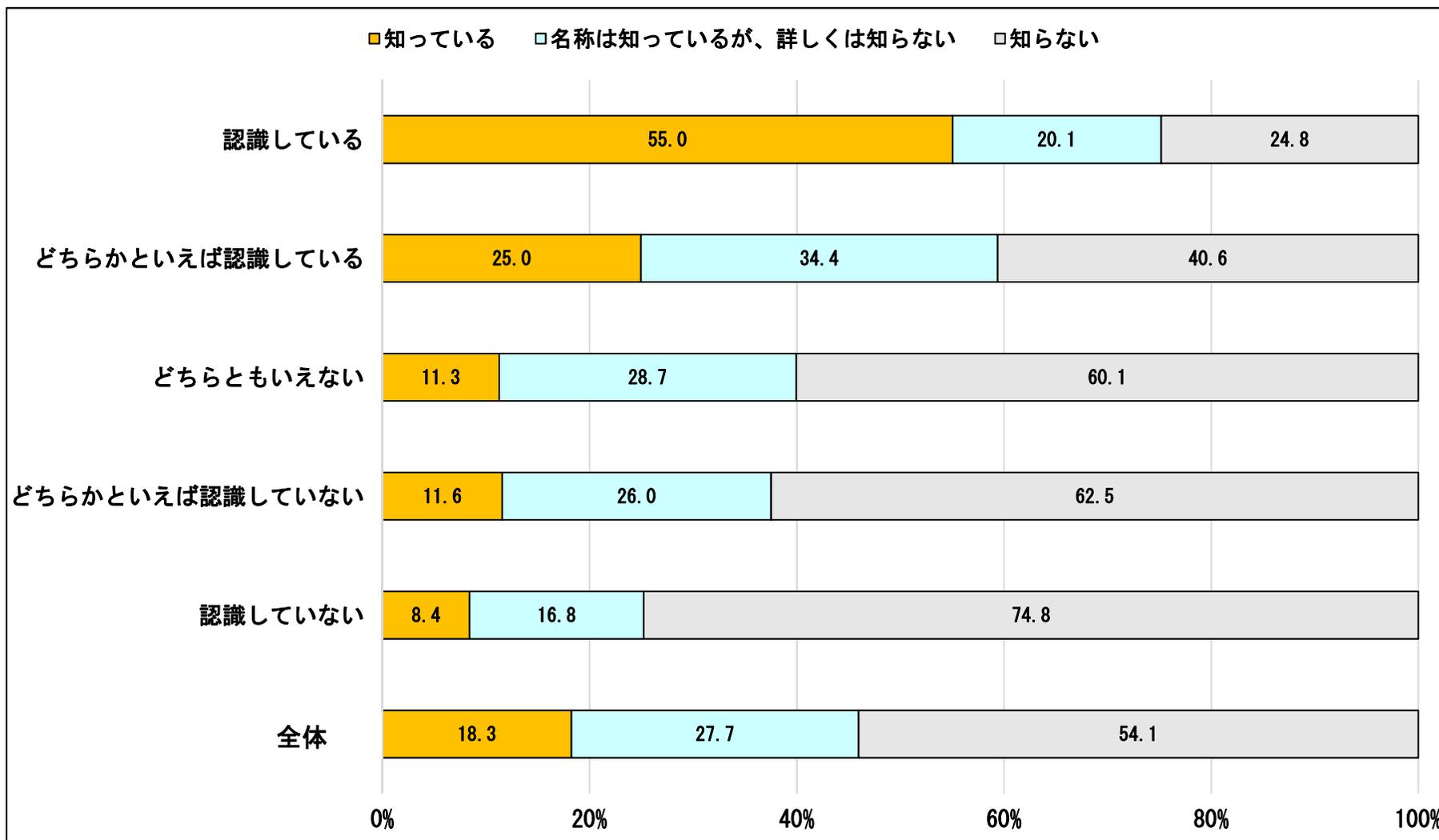
なお、一部のクロス集計表においてはセルの値の偏り等で上記分析結果の信頼性が担保されない可能性があったため、当該クロス集計表の分析にあたっては類似の選択肢を合算（セルの人数を足して1つの選択肢とみなすこと）してカイ二乗検定及び残差分析を行った。

2. 実際の分析ではそれぞれの残差を同一の水準に置き換えた調整済み残差が統計的に有意か否かを判定している。

3. 有意水準が5%であるとは、ある事象が起こる確率が5%以下であった場合にその事象が偶然ではなく、何らかの理由がある（統計的に意味がある）と判定するということである。すなわち有意水準が小さければ小さいほど厳格な基準になることを意味している。

Q. SNS等によっては、御自身の情報を収集・利用しないように設定することができる（以下「**オプトアウト設定**」といいます。）ことを知っていますか。

Q. SNS等を利用する際、どのような情報が広告表示の目的の下に収集・利用されているか、認識していますか。



	知っている	名称は知っているが、詳しくは知らない	知らない	横合計
認識している	(人数) *** 82	* 30	*** 37	149
	(割合) 55.0	20.1	24.8	100.0
どちらかといえば認識している	*** 145	** 200	*** 236	581
	25.0	34.4	40.6	100.0
どちらともいえない	*** 62	158	*** 331	551
	11.3	28.7	60.1	100.0
どちらかといえば認識していない	*** 57	128	*** 308	493
	11.6	26.0	62.5	100.0
認識していない	*** 19	** 38	*** 169	226
	8.4	16.8	74.8	100.0
全体	365	554	1081	2000
	18.3	27.7	54.1	100.0

(セルに属する回答者が30人以上の場合)

- 全体+10ポイント以上
- 全体+5ポイント以上
- 全体-5ポイント以下
- 全体-10ポイント以下
- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

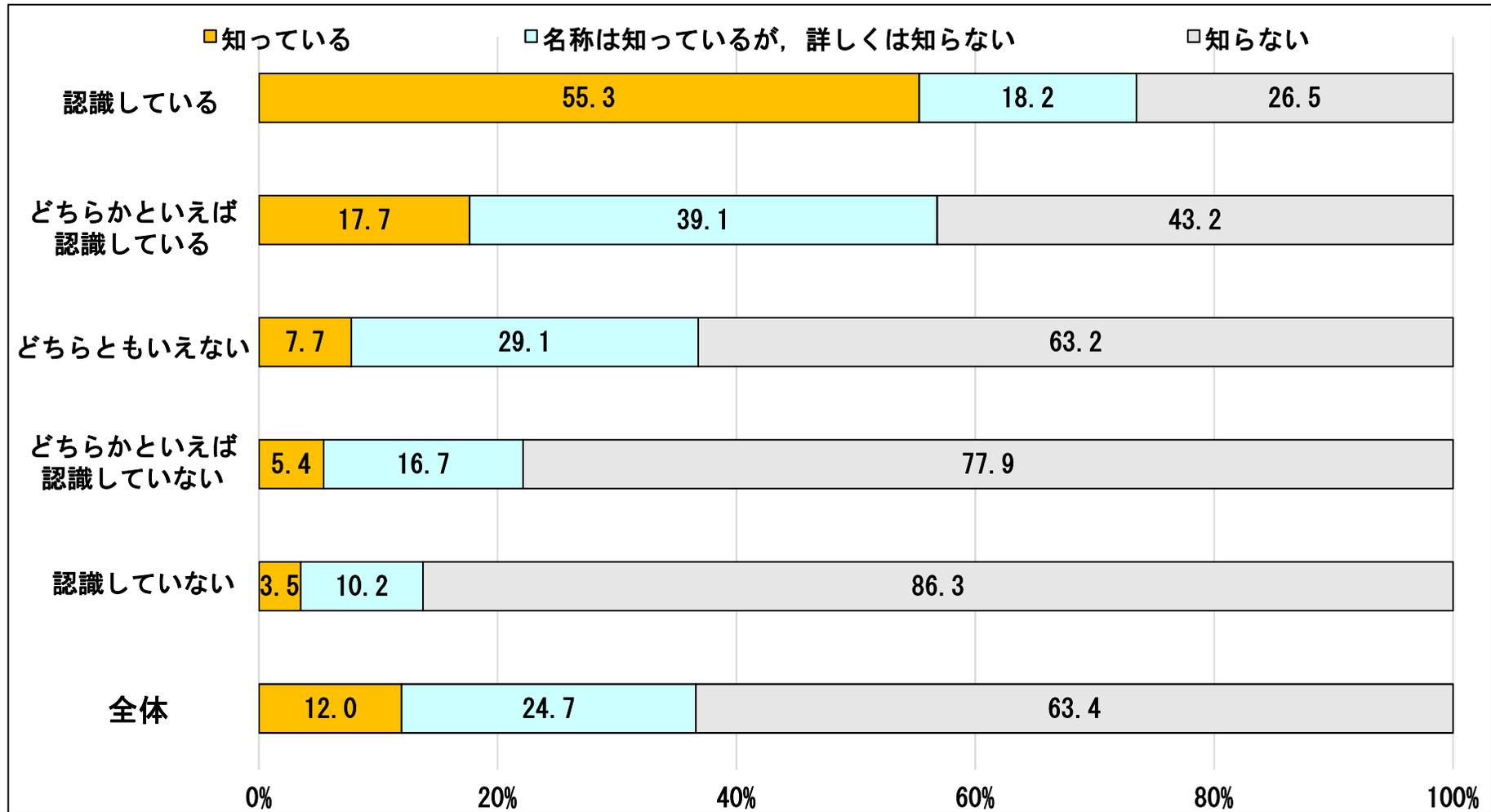
※クロス集計表について、各セルでの割合が全体での割合より1ポイント以上大きい場合、5ポイント以上大きい場合、5ポイント以下で小さい場合、10ポイント以下で小さい場合、それぞれセルに色を塗っている。例えば(情報を)認識している、かつ(オプトアウト機能を)知っている回答した人は、(情報を)認識していると回答した人のうち55%を占めており、全体の18.3%よりも10ポイント以上大きいため、セルが濃いオレンジ色で塗られている。これらはセルに属する回答者が30人以上の場合のみに行っている。

分析結果

上記のクロス集計表から、SNS等利用者のうち広告表示の目的の下に収集・利用されている情報を「認識している」と回答した人でも、そのうち45%がオプトアウト設定について「詳しくは知らない」又は「知らない」と回答したことが明らかになった。更にカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=257.67$, 自由度8) であった。残差分析を行ったところ、SNSサービスにおいてどのような情報が広告表示に用いられているか「認識している」と回答した人はオプトアウト機能を「知っている」と回答した割合が高く(1%有意)、逆にどのような情報が広告表示に用いられているか「認識していない」と回答した人はオプトアウト設定を「知らない」と回答した割合も高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 検索サービスによっては、御自身の情報を収集・利用しないように設定することができる（以下「オプトアウト設定」といいます。）ことを知っていますか。

Q. 検索サービスを利用する際、どのような情報が広告表示の目的の下に収集・利用されているか、認識していますか。



	知っている	名称は知っているが、詳しくは知らない	知らない	横合計
認識している	(人数) *** 73	* 24	*** 35	132
	(割合) 55.3	18.2	26.5	100.0
どちらかといえば認識している	*** 83	*** 184	*** 203	470
	17.7	39.1	43.2	100.0
どちらともいえない	*** 46	*** 173	376	595
	7.7	29.1	63.2	100.0
どちらかといえば認識していない	*** 25	*** 77	*** 359	461
	5.4	16.7	77.9	100.0
認識していない	*** 12	*** 35	*** 295	342
	3.5	10.2	86.3	100.0
全体	239	493	1268	2000
	12.0	24.7	63.4	100.0

(セルに属する回答者が30人以上の場合)



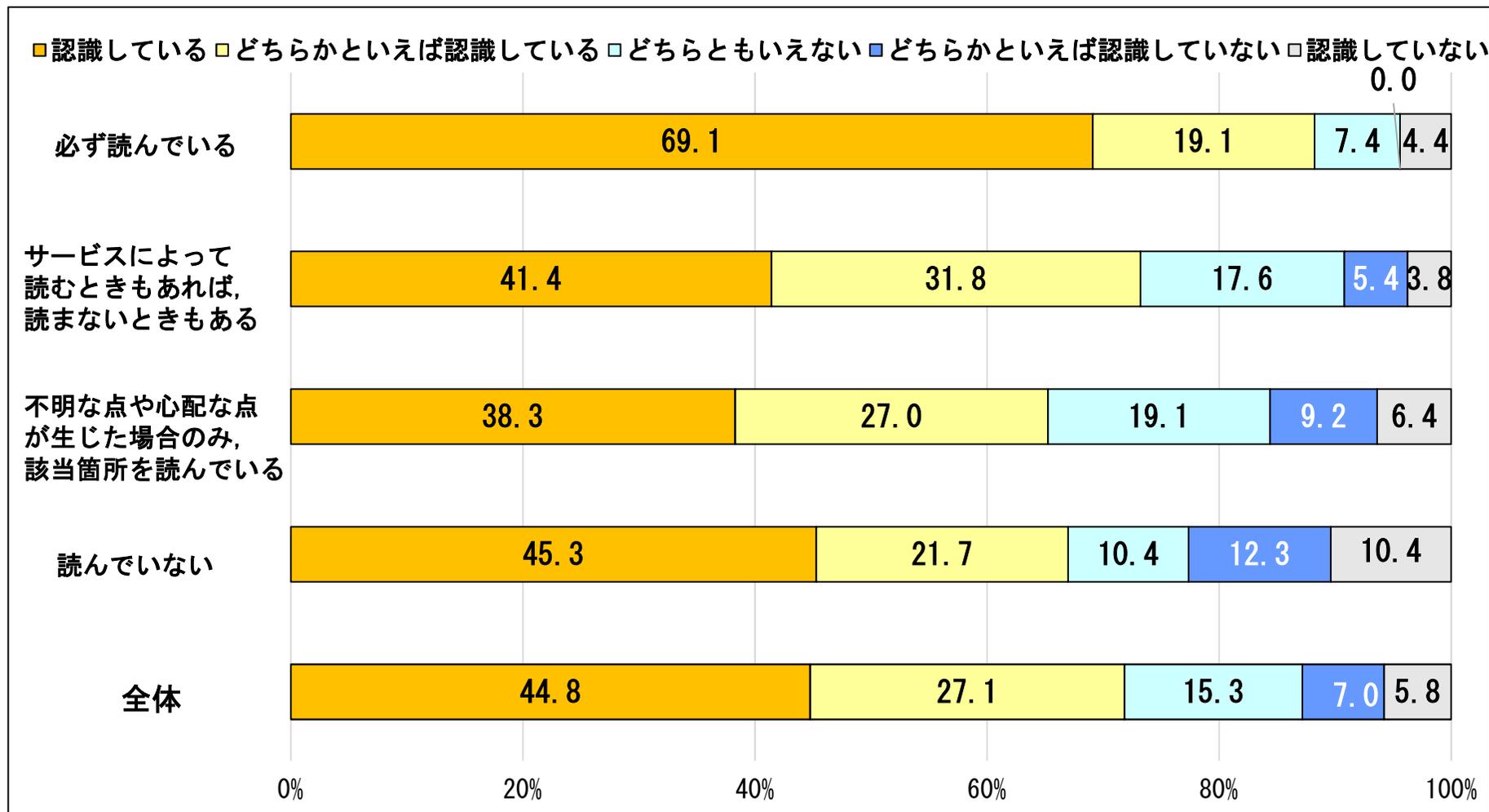
- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表により、検索サービス利用者のうち広告表示の目的の下に収集・利用されている情報を「認識している」と回答した人でも、そのうち約45%がオプトアウト設定について「詳しくは知らない」又は「知らない」と回答したことが明らかになった。更にカイ二乗検定を行ったところ、1%水準で有意 ($\chi^2=455.84$, 自由度8) であった。残差分析を行ったところ、検索サービスにおいてもSNSサービス利用者と同様に、どのような情報が広告表示に用いられるか「認識している」と回答した人はオプトアウト設定を「知っている」と回答した割合が高く(1%有意)、逆に、どのような情報が広告表示に用いられるか「認識していない」と回答した人はオプトアウト設定を「知らない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 検索サービスは無料で利用者に提供される反面、検索サービスの利用者の情報を収集していると言われていますが、検索サービスを利用する際、当該サービスの提供者にご自身も何らかの情報を提供しているという認識はありますか。

Q. 検索サービスの利用に際し、利用規約を読みますか。
 検索サービスを利用する際に当該サービスの利用規約があることを知っている方への質問



合算して分析⁴

	認識している	どちらかとい えば認識して いる	どちらとも いえない	どちらかとい えば認識して いない	認識して いない	横合計
必ず読んでいる	(人数) ***47	13	* 5	** 0	** 3	68
	(割合) 69.1	19.1	7.4	0.0	4.4	100.0
サービスによって 読むときもあれば、 読まないときもあ る	99	** 76	42	** 13	** 9	239
	41.4	31.8	17.6	5.4	3.8	100.0
不明な点や心配な 点が生じた場合の み、該当箇所を読 んでいる	** 54	38	27	13	9	141
	38.3	27.0	19.1	9.2	6.4	100.0
読んでいない	48	23	11	*** 13	*** 11	106
	45.3	21.7	10.4	12.3	10.4	100.0
全体	248	150	85	39	32	554
	44.8	27.1	15.3	7.0	5.8	100.0

(セルに属する回答者が
30人以上の場合)

- 全体+10ポイント以上
- 全体+5ポイント以上
- 全体-5ポイント以下
- 全体-10ポイント以下
- *** 1%水準でプラスに有意
(人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意
(人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

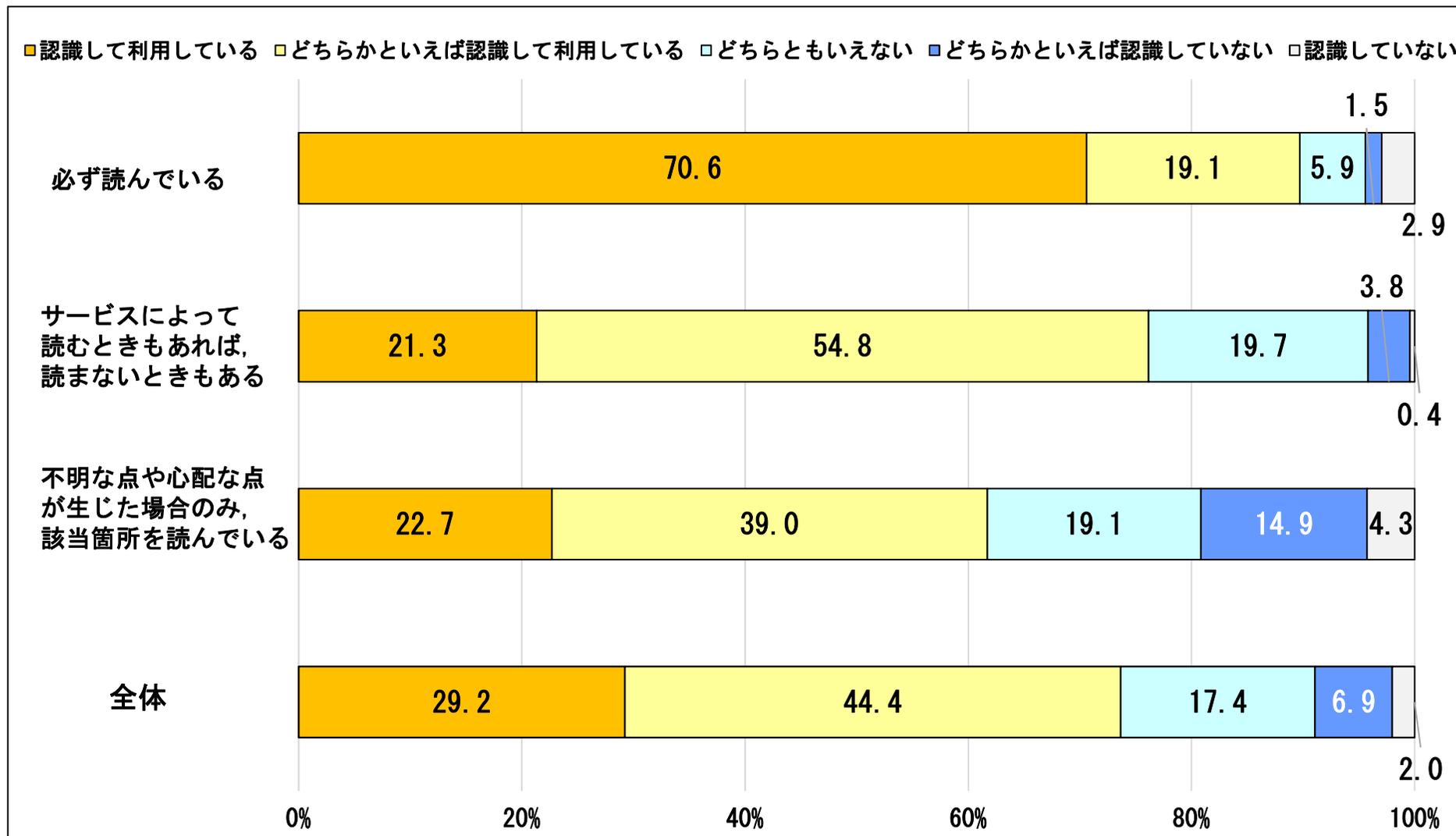
上記のクロス集計表についてカイニ乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=37.279$, 自由度9) であった。残差分析を行ったところ、検索サービスにおいて利用規約を「必ず読む」と回答した人は自身の情報提供について「認識している」と回答した割合が多く(1%有意)、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人は自身の情報提供について「どちらかといえば認識していない」又は「認識していない」と回答した割合が多い(1%有意)ことが明らかになった。

4. 一部のクロス集計表においてはセルの値の偏り等で上記分析結果の信頼性が担保されない可能性があったため、当該クロス集計表の分析にあたっては類似の選択肢を合算(セルの人数を足して1つの選択肢とみなすこと)してカイニ乗検定及び残差分析を行った。なお、合算後のセルが有意であった場合には両方のセルに有意を表す印を付している。そのため、合算されたセルが有意と判定された場合でも、そのどちらに要因があるのかは明らかではない。

Q. 検索サービスの利用規約では広告表示の目的のために、利用者の情報を一定程度収集・利用することが盛り込まれていますが、このことを認識して検索サービスを利用していますか。〔検索サービスの利用規約を一部でも読んでいる方への質問〕

〔があることを知っている方への質問〕

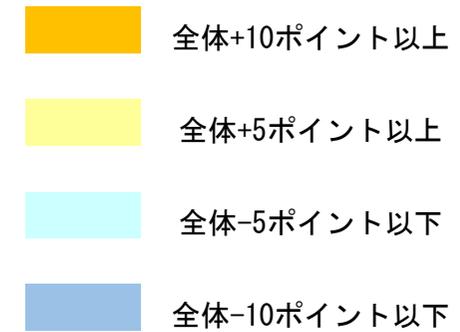
Q. 検索サービスの利用に際し、利用規約を読みますか。



合算して分析

(セルに属する回答者が30人以上の場合)

	認識して利用している	どちらかといえば認識して利用している	どちらともいえない	どちらかといえば認識していない	認識していない	横合計
必ず読んでいる	(人数) *** 48	*** 13	*** 4	1	2	68
	(割合) 70.6	19.1	5.9	1.5	2.9	100.0
サービスによって読むときもあれば、読まないときもある	*** 51	*** 131	47	*** 9	*** 1	239
	21.3	54.8	19.7	3.8	0.4	100.0
不明な点や心配な点が生じた場合のみ、該当箇所を読んでいる	** 32	55	27	*** 21	*** 6	141
	22.7	39.0	19.1	14.9	4.3	100.0
全体	131	199	78	31	9	448
	29.2	44.4	17.4	6.9	2.0	100.0



- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

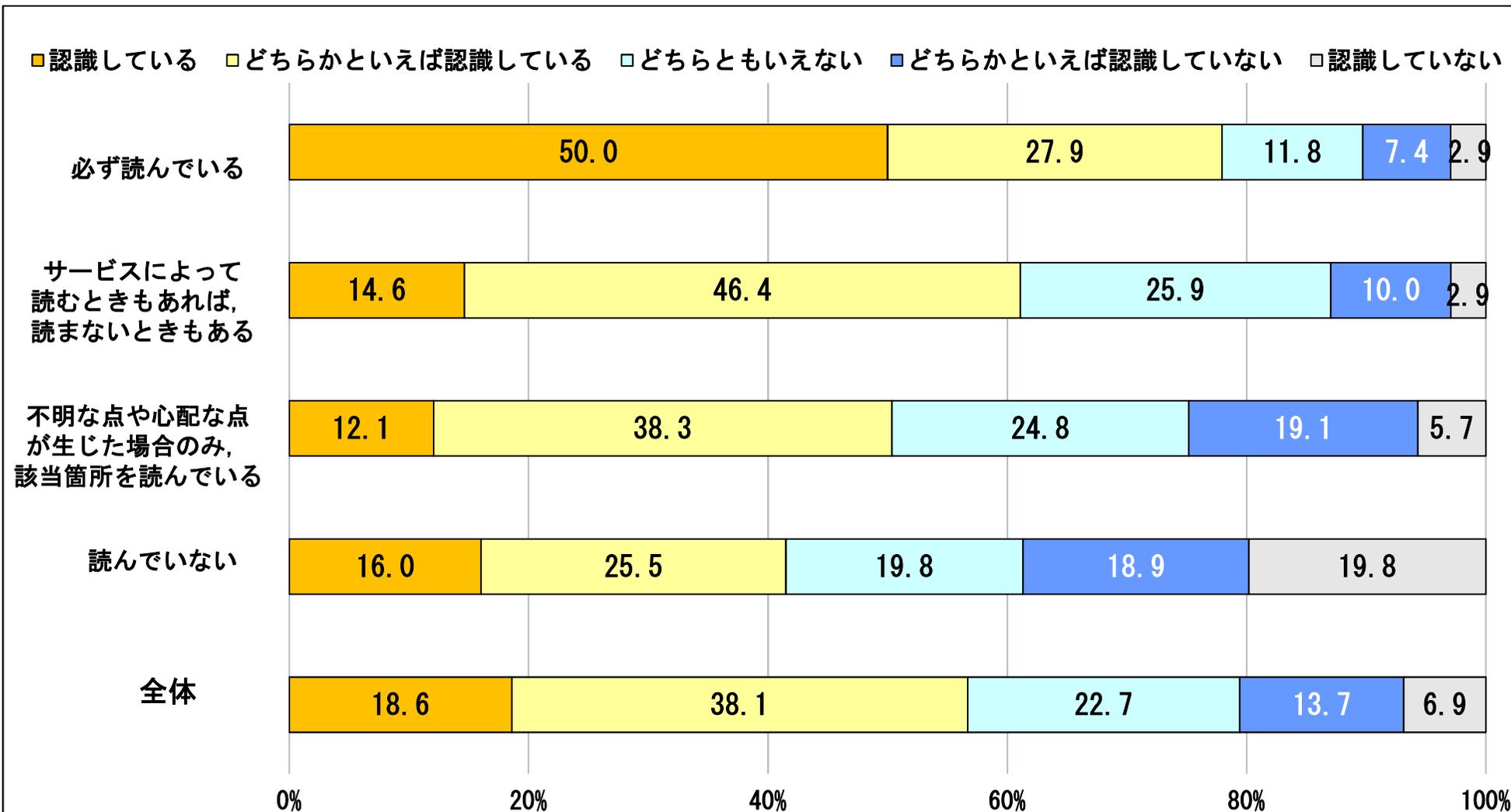
※縦軸の質問で（利用規約を）「読んでいない」と答えた回答者は横軸の質問への回答権がないため、縦軸から「読んでいない」の欄は削除している。

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ、1%水準で有意 ($\chi^2=93.676$, 自由度6) であった。残差分析を行ったところ、検索サービスにおいて利用規約を「必ず読んでいる」と回答した人は広告表示の目的の情報収集・利用について「認識している」と回答した割合が高く (1%有意)、逆に、利用規約を「不明な点や心配な点が生じた場合のみ、該当箇所を読んでいる」と回答した人は広告表示の目的の情報収集・利用を「どちらかといえば認識していない」又は「認識していない」と回答した割合が高い (1%有意) ことが明らかになった。

Q. 検索サービスを利用する際、どのような情報が広告表示の目的の下に、
収集・利用されているか、認識していますか。

■ 認識している □ どちらかといえば認識している □ どちらともいえない ■ どちらかといえば認識していない □ 認識していない



Q. 検索サービスの利用に際し、利用規約を読みますか。

検索サービスを利用する際に当該サービスの利用規約があることを知っている方への質問

合算して分析

(セルに属する回答者が30人以上の場合)

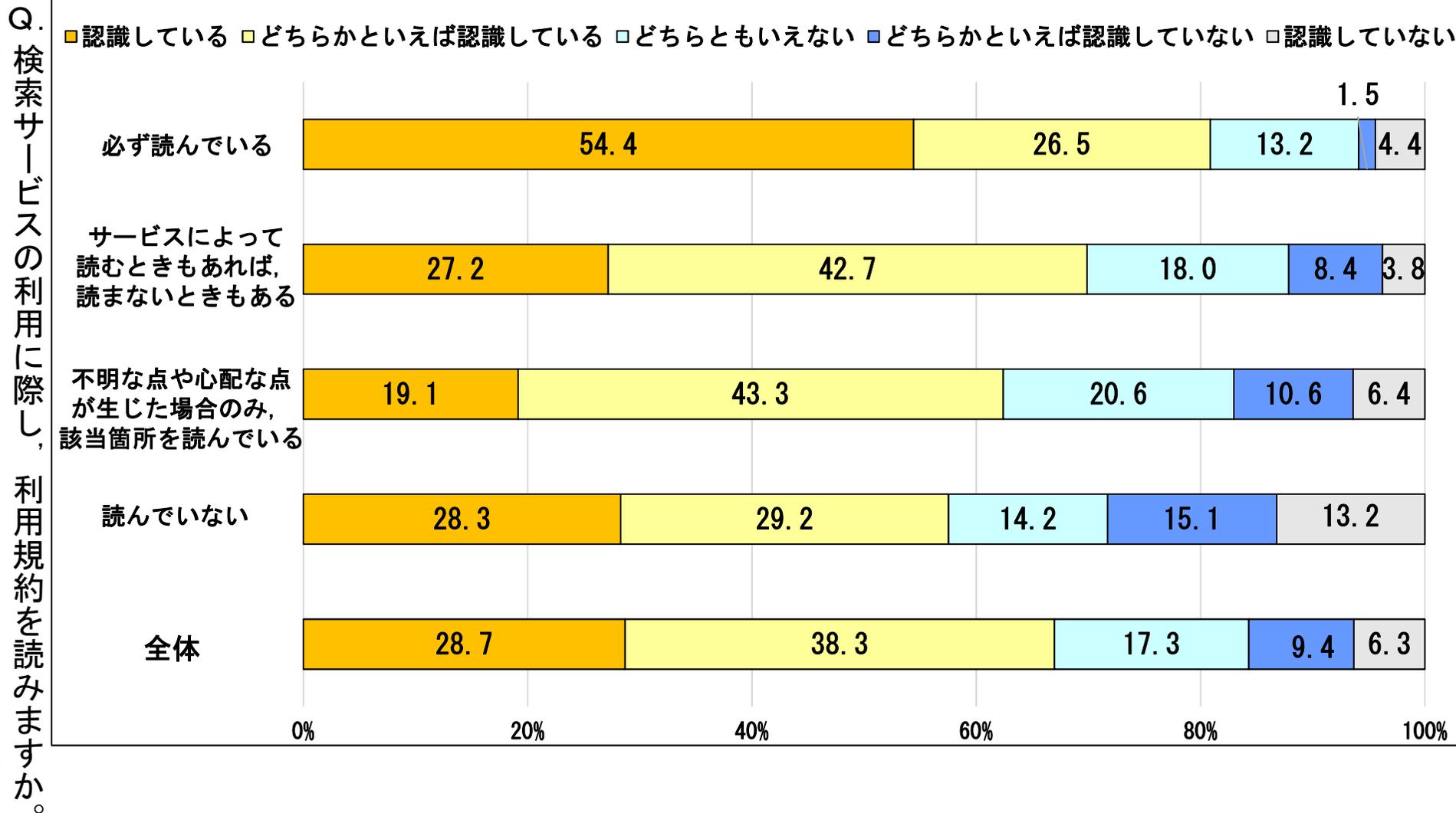
	認識している	どちらかとい えば認識して いる	どちらともい えない	どちらかとい えば認識して いない	認識していな い	横合計
必ず読んでいる	(人数) ***34	** 19	** 8	** 5	** 2	68
	(割合) 50.0	27.9	11.8	7.4	2.9	100.0
サービスによって読む ときもあれば、読まない ときもある	** 35	*** 111	62	*** 24	*** 7	239
	14.6	46.4	25.9	10.0	2.9	100.0
不明な点や心配な点 が生じた場合のみ、該 当箇所を読んでいる	** 17	54	35	27	8	141
	12.1	38.3	24.8	19.1	5.7	100.0
読んでいない	17	*** 27	21	*** 20	*** 21	106
	16.0	25.5	19.8	18.9	19.8	100.0
全体	103	211	126	76	38	554
	18.6	38.1	22.7	13.7	6.9	100.0

- 全体+10ポイント以上
- 全体+5ポイント以上
- 全体-5ポイント以下
- 全体-10ポイント以下
- *** 1%水準でプラスに有意
(人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意
(人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=86.021$, 自由度9) であった。残差分析を行ったところ、検索サービスにおいて利用規約を「必ず読んでいる」と回答した人はどのような情報が収集されているのか「認識している」と回答した割合が高く、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人はどのような情報が収集されているのかについて「どちらかといえば認識していない」又は「認識していない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 収集された情報やデータが、第三者と共有されている場合があることを認識していますか。

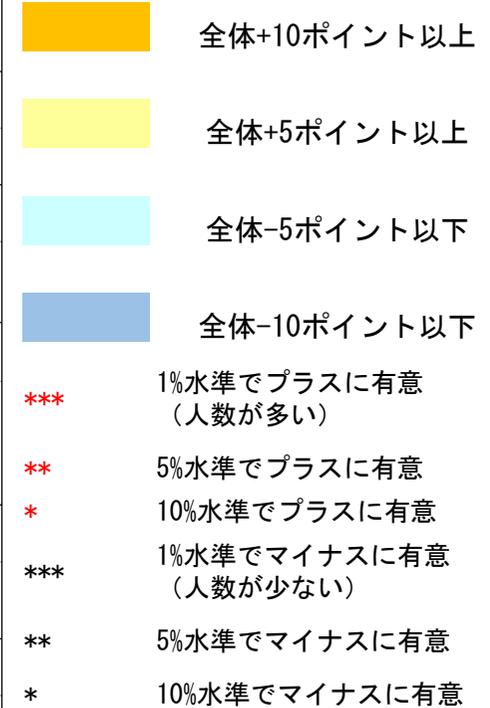


検索サービスを利用する際に当該サービスの利用規約を知っている方への質問

合算して分析

(セルに属する回答者が30人以上の場合)

	認識している	どちらかとい えば認識して いる	どちらともい えない	どちらかとい えば認識して いない	認識していな い	横合計
必ず読んでいる	(人数) ***37	** 18	9	** 1	** 3	68
	(割合) 54.4	26.5	13.2	1.5	4.4	100.0
サービスによって読 むときもあれば、読 まないときもある	65	* 102	43	** 20	** 9	239
	27.2	42.7	18.0	8.4	3.8	100.0
不明な点や心配な 点が生じた場合の み、該当箇所を読 んでいる	*** 27	61	29	15	9	141
	19.1	43.3	20.6	10.6	6.4	100.0
読んでいない	30	** 31	15	*** 16	*** 14	106
	28.3	29.2	14.2	15.1	13.2	100.0
全体	159	212	96	52	35	554
	28.7	38.3	17.3	9.4	6.3	100.0



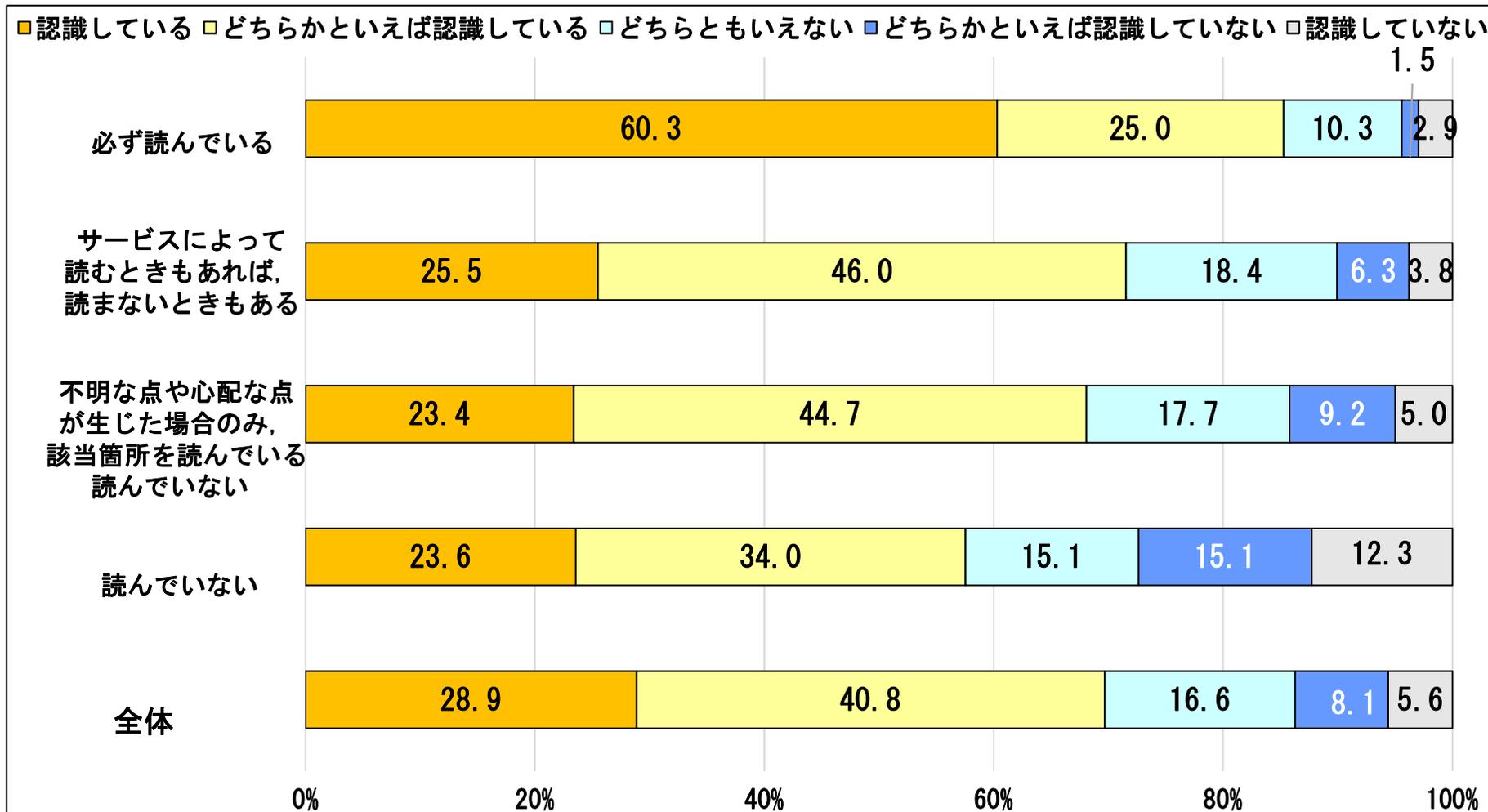
分析結果

上記のクロス集計表についてカイニ乗検定を行ったところ、1%水準で有意 ($\chi^2=46.375$, 自由度9) であった。残差分析を行ったところ、検索サービスにおいて利用規約を「必ず読んでいる」と回答した人は自身の情報が第三者と共有されていることについて「認識している」と回答した割合が高く、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人は自身の情報が第三者と共有されていることについて「どちらかといえれば認識していない」又は「認識していない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 収集された情報やデータが個人を特定できない情報（位置情報、検索履歴、購買履歴等）であっても、収集先や共有先で御自身の個人情報に紐づけられて利用される可能性があることを認識していますか。

Q. 検索サービスの利用に際し、利用規約を読みますか。

検索サービスを利用する際に当該サービスの利用規約があることを知っている方への質問



合算して分析

	認識している	どちらかといえ ば認識してい る	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば認識してい ない	認識していな い	横合計
必ず読んでい る	(人数) *** 41	*** 17	7	** 1	** 2	68
	(割合) 60.3	25.0	10.3	1.5	2.9	100.0
サービスによっ て読むときもあ れば、読まな いときもある	61	** 110	44	** 15	** 9	239
	25.5	46.0	18.4	6.3	3.8	100.0
不明な点や心 配な点が生じ た場合のみ、 該当箇所を読 んでいる	33	63	25	13	7	141
	23.4	44.7	17.7	9.2	5.0	100.0
読んでいない	25	36	16	*** 16	*** 13	106
	23.6	34.0	15.1	15.1	12.3	100.0
全 体	160	226	92	45	31	554
	28.9	40.8	16.6	8.1	5.6	100.0

(セルに属する回答者が
30人以上の場合)



- *** 1%水準でプラスに有意
(人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意
(人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

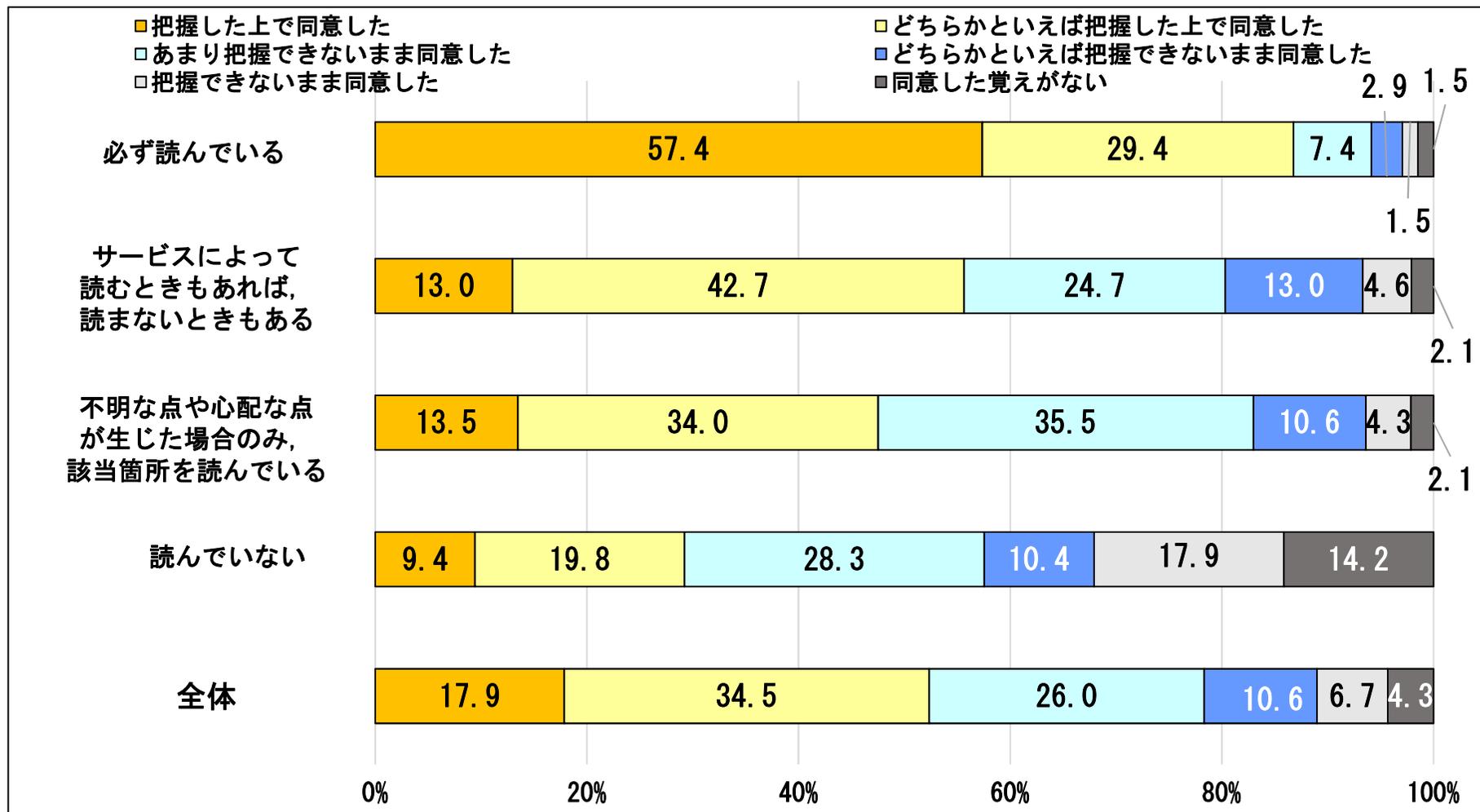
分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ、1%水準で有意 ($\chi^2=57.556$, 自由度9) であった。残差分析を行ったところ、検索サービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人は個人情報に紐付けて利用される可能性について「認識している」と回答した割合が高く (1%有意)、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人は個人情報に紐付けて利用される可能性について「認識していない」と回答した割合が高い (1%有意) ことが明らかになった。

Q. 検索サービスの利用規約に同意する際、どのような情報が広告表示の目的の下に収集・利用されることになるか、把握した上で同意しましたか。

Q. 検索サービスの利用に際し、利用規約を読みますか。

検索サービスを利用する際に当該サービスの利用規約があることを知っている方への質問



合算して分析

	把握した上で同意した	どちらかといえば把握した上で同意した	あまり把握できないまま同意した	どちらかといえば把握できないまま同意した	把握できないまま同意した	同意した覚えがない	横合計
必ず読んでいる	(人数) ***39	20	*** 5	** 2	** 1	** 1	68
	(割合) 57.4	29.4	7.4	2.9	1.5	1.5	100.0
サービスによって読むときもあれば、読まないときもある	*** 31	*** 102	59	31	*** 11	*** 5	239
	13.0	42.7	24.7	13.0	4.6	2.1	100.0
不明な点や心配な点が生じた場合のみ、該当箇所を読んでいる	19	48	*** 50	15	** 6	** 3	141
	13.5	34.0	35.5	10.6	4.3	2.1	100.0
読んでいない	** 10	*** 21	30	11	*** 19	*** 15	106
	9.4	19.8	28.3	10.4	17.9	14.2	100.0
全体	99	191	144	59	37	24	554
	17.9	34.5	26.0	10.6	6.7	4.3	100.0

(セルに属する回答者が30人以上の場合)

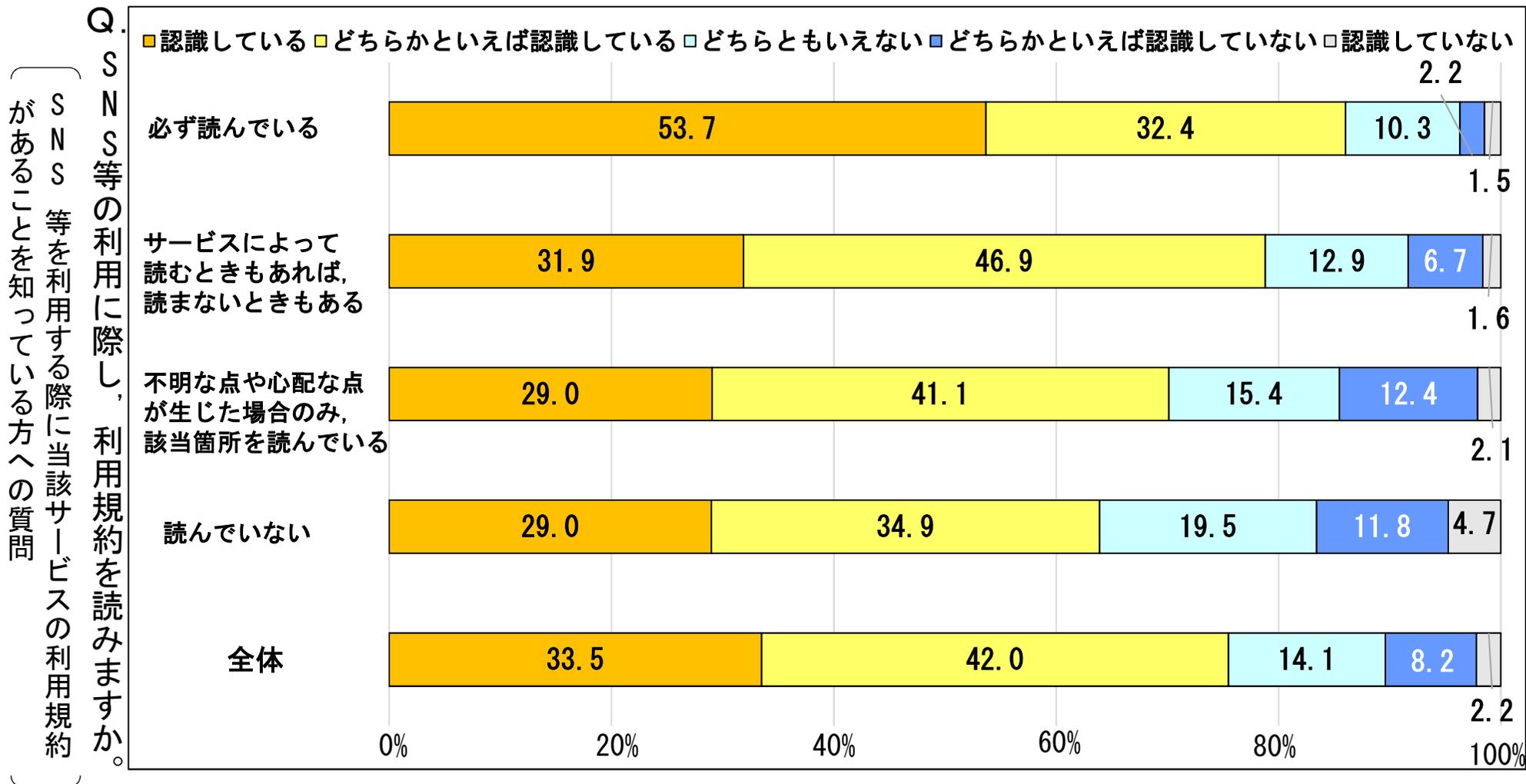
- 全体+10ポイント以上
- 全体+5ポイント以上
- 全体-5ポイント以下
- 全体-10ポイント以下

- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=152.93$, 自由度12) であった。残差分析を行ったところ、検索サービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人はどのような情報が収集されているのかを把握して同意したかについて「把握した上で同意した」と回答した割合が高く (1%有意)、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人はどのような情報が収集されているのかを把握して同意したかについて「把握できないまま同意した」又は「同意した覚えがない」と回答した割合が高い (1%有意) ことが明らかになった。

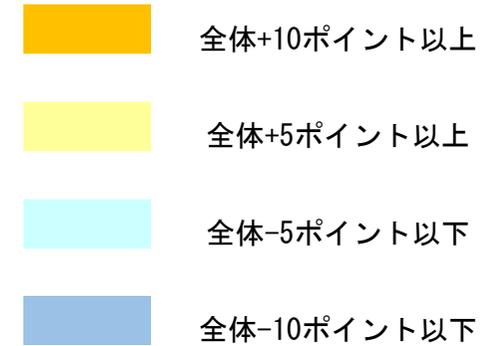
Q. SNS等を利用する際、当該サービスの提供者に御自身も何らかの情報を提供しているという認識はありますか。



合算して分析

	認識している	どちらかといえ ば認識している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば認識していない	認識してい ない	横合計
必ず読んでいる	(人数) *** 73	** 44	14	*** 3	*** 2	136
	(割合) 53.7	32.4	10.3	2.2	1.5	100.0
サービスによっ て読むときもあ れば、読まない ときもある	176	*** 259	71	** 37	** 9	552
	31.9	46.9	12.9	6.7	1.6	100.0
不明な点や心配 な点が生じた場 合のみ、該当箇 所を読んでいる	* 70	99	37	** 30	** 5	241
	29.0	41.1	15.4	12.4	2.1	100.0
読んでいない	49	** 59	** 33	*** 20	*** 8	169
	29.0	34.9	19.5	11.8	4.7	100.0
全体	368	461	155	90	24	1098
	33.5	42.0	14.1	8.2	2.2	100.0

(セルに属する回答者が
30人以上の場合)

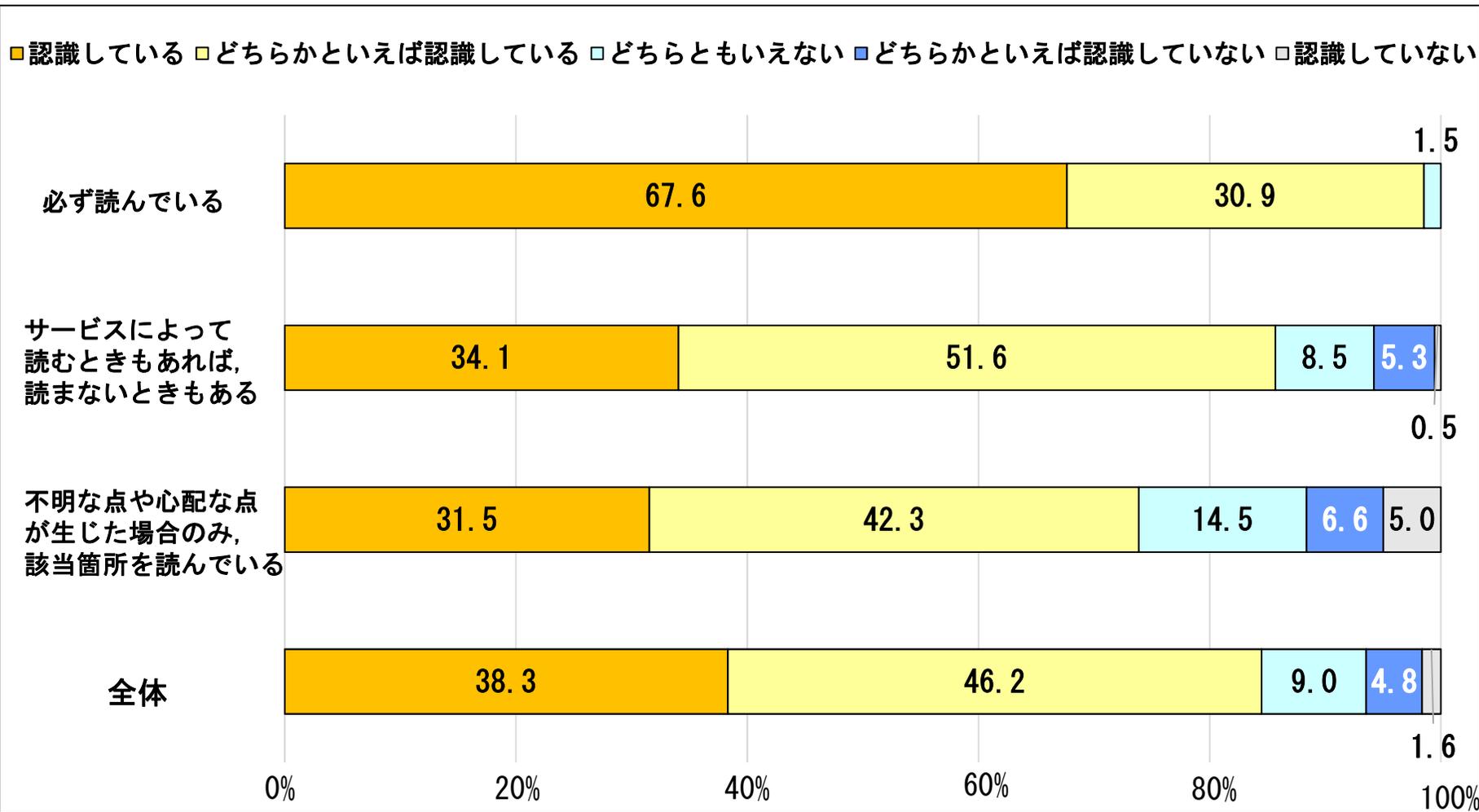


- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=51.786$, 自由度9) であった。残差分析を行ったところ、SNSサービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人は自身の情報提供について「認識している」と回答した割合が高く(1%有意)、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人は自身の情報提供について「どちらかといえば認識していない」又は「認識していない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 利用規約では広告表示目的のため、利用者情報を一定程度収集利用することが盛り込まれ、利用者はアカウントを設ける際、同意し利用することになりますが認識していますか。



Q. SNS等の利用に際し、利用規約を読みますか。

SNS等を利用する際に当該サービスの利用規約があることを知っている方への質問

合算して分析

(セルに属する回答者が30人以上の場合)



- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

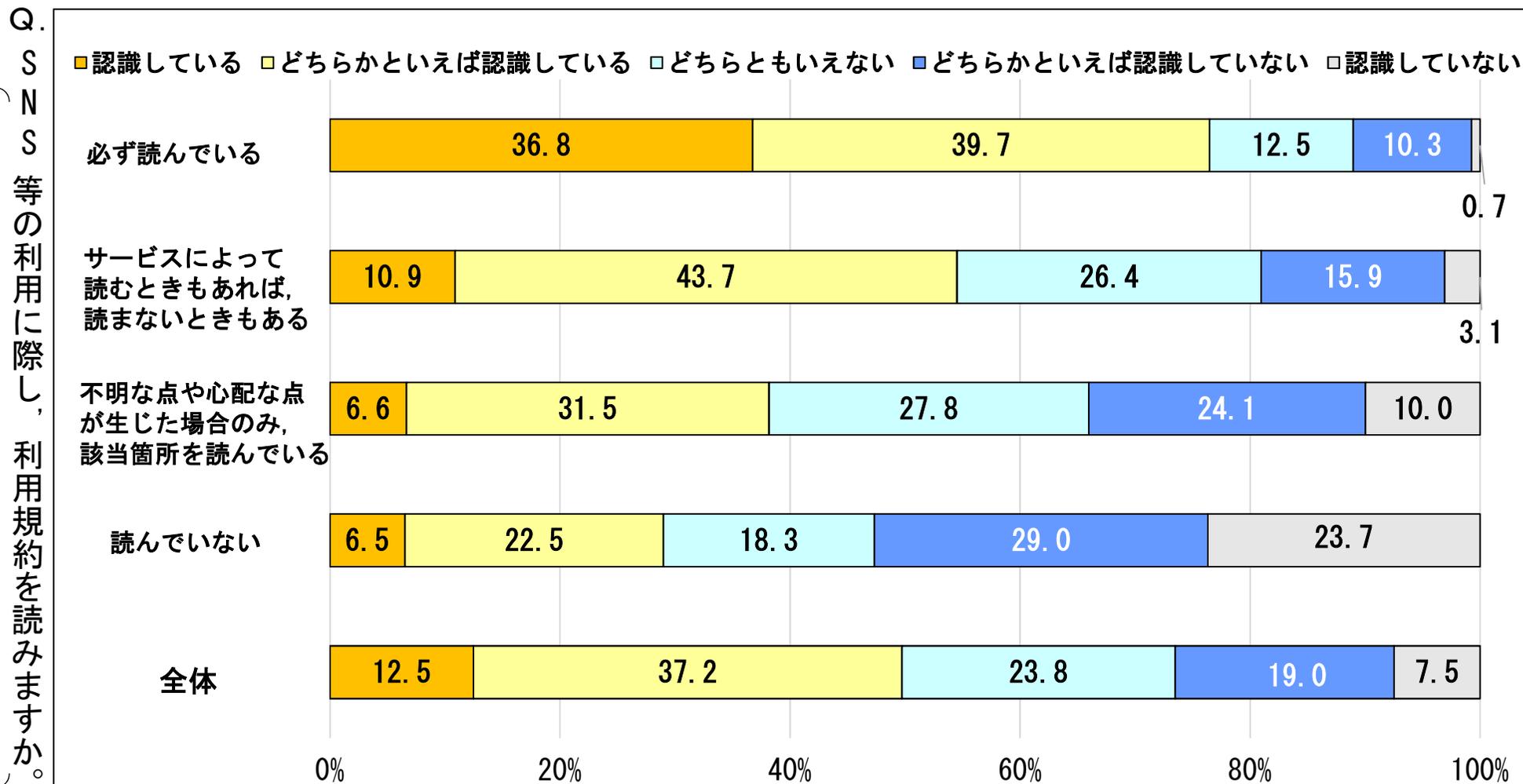
	認識している	どちらかといえ ば認識している	どちらともい えない	どちらかとい えば認識して いない	認識していな い	横合計
必ず読んでいる	(人数) *** 92	*** 42	*** 2	*** 0	*** 0	136
	(割合) 67.6	30.9	1.5	0.0	0.0	100.0
サービスによって 読むときもあれ ば、読まないとき もある	*** 188	*** 285	47	29	3	552
	34.1	51.6	8.5	5.3	0.5	100.0
不明な点や心配 な点が生じた場 合のみ、該当箇 所を読んでいる	** 76	102	*** 35	*** 16	*** 12	241
	31.5	42.3	14.5	6.6	5.0	100.0
全体	356	429	84	45	15	929
	38.3	46.2	9.0	4.8	1.6	100.0

※縦軸の質問で（利用規約を）「読んでいない」と答えた回答者は横軸の質問に回答権がないため、縦軸から「読んでいない」の欄は削除している。

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=83.145$, 自由度6) であった。残差分析を行ったところ、SNSサービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人は利用規約内の情報収集についての同意を「認識している」と回答した割合が高く(1%有意)、逆に、利用規約を「不明な点や心配な点が生じた場合のみ、該当箇所を読んでいる」と回答した人は利用規約内の情報収集についての同意を「どちらかといえれば認識していない」又は「認識していない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. SNS等を利用する際、どのような情報が広告表示の目的の下に収集・利用されているか、認識していますか。



Q. SNS等を利用する際、利用規約を読みますか。
 SNS等を利用することを知っている方への質問

	認識している	どちらかといえ ば認識している	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば認識していな い	認識していない	横合計
必ず読んでいる	(人数) *** 50	54	*** 17	*** 14	*** 1	136
	(割合) 36.8	39.7	12.5	10.3	0.7	100.0
サービスによって 読むときもあれ ば、読まないとき もある	60	*** 241	** 146	** 88	*** 17	552
	10.9	43.7	26.4	15.9	3.1	100.0
不明な点や心配 な点が生じた場 合のみ、該当箇 所を読んでいる	*** 16	** 76	* 67	** 58	* 24	241
	6.6	31.5	27.8	24.1	10.0	100.0
読んでいない	** 11	*** 38	* 31	*** 49	*** 40	169
	6.5	22.5	18.3	29.0	23.7	100.0
全体	137	409	261	209	82	1098
	12.5	37.2	23.8	19.0	7.5	100.0

(セルに属する回答者が
30人以上の場合)



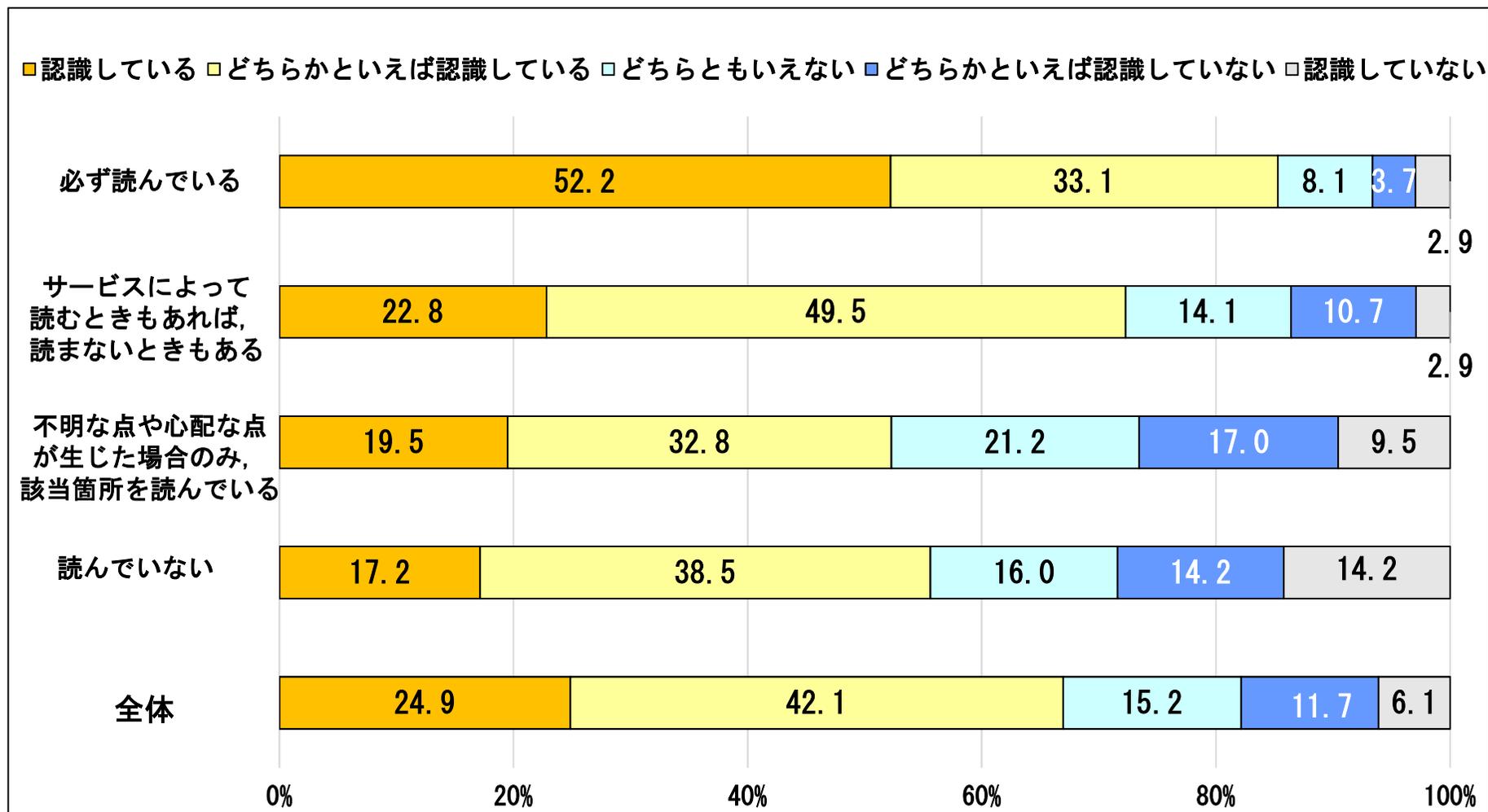
- *** 1%水準でプラスに有意
(人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意
(人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=211.96$, 自由度12) であった。残差分析を行ったところ、SNSサービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人は広告表示のために収集される情報について「認識している」と回答した割合が高く(1%有意)、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人は広告表示のために収集される情報について「認識していない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 収集された情報やデータが、第三者と共有されている場合があることを認識していますか。

Q SNS等の利用に際し、利用規約を読みますか。
 SNS等を利用する際に当該サービスの利用規約があることを知っている方への質問



	認識している	どちらかといえ ば認識している	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば認識していな い	認識していない	横合計
必ず読んでいる	(人数) *** 71	** 45	** 11	*** 5	* 4	136
	(割合) 52.2	33.1	8.1	3.7	2.9	100.0
サービスによっ て読むときもあ れば, 読まない ときもある	126	*** 273	78	59	*** 16	552
	22.8	49.5	14.1	10.7	2.9	100.0
不明な点や心 配な点が生じた 場合のみ, 該当 箇所を読ん でいる	** 47	*** 79	*** 51	*** 41	** 23	241
	19.5	32.8	21.2	17.0	9.5	100.0
読んでいない	** 29	65	27	24	*** 24	169
	17.2	38.5	16.0	14.2	14.2	100.0
全体	273	462	167	129	67	1098
	24.9	42.1	15.2	11.7	6.1	100.0

(セルに属する回答者が
30人以上の場合)

	全体+10ポイント以上
	全体+5ポイント以上
	全体-5ポイント以下
	全体-10ポイント以下

*** 1%水準でプラスに有意
(人数が多い)

** 5%水準でプラスに有意

* 10%水準でプラスに有意

*** 1%水準でマイナスに有意
(人数が少ない)

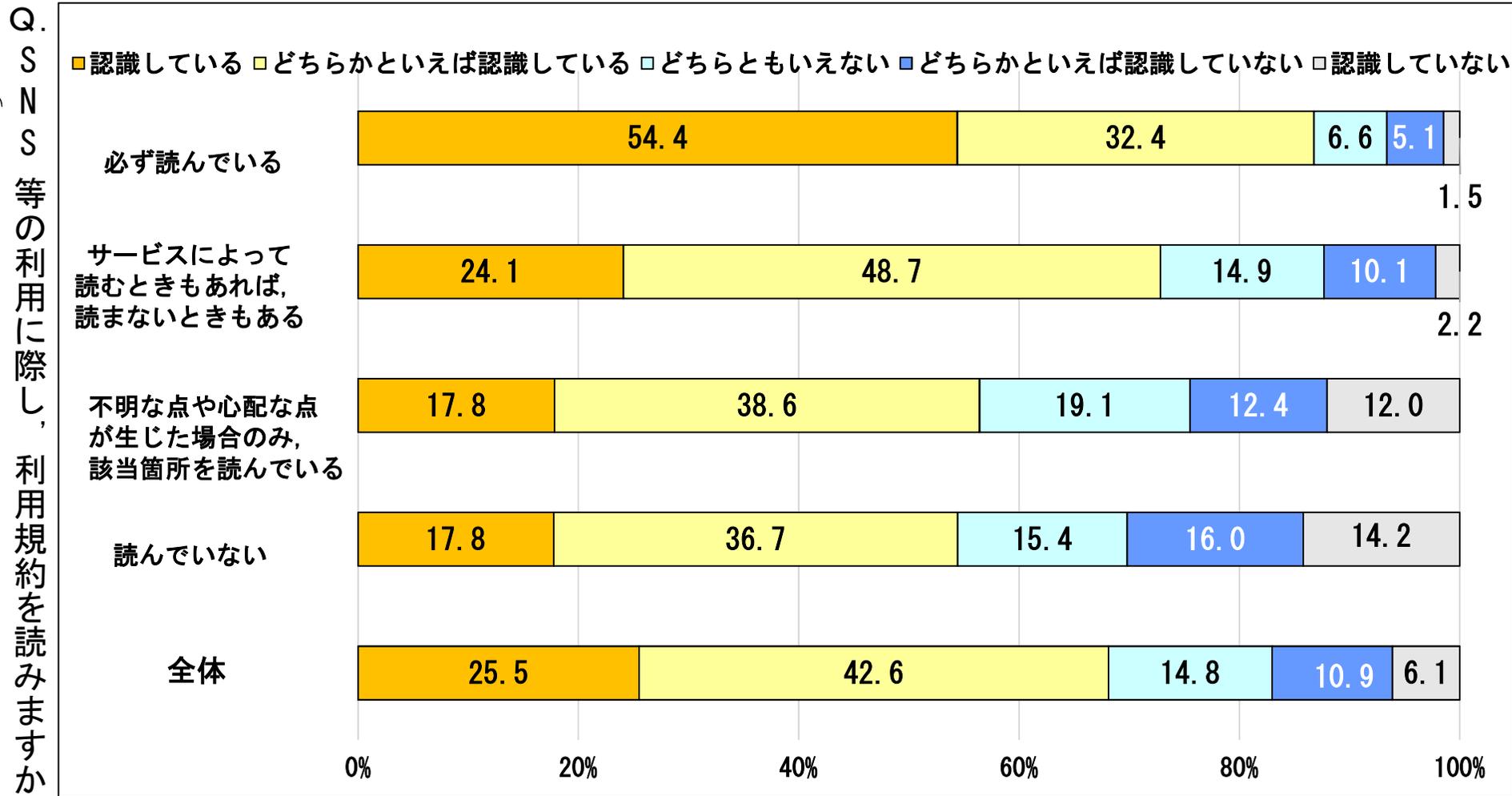
** 5%水準でマイナスに有意

* 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=123.48$, 自由度12)であった。残差分析を行ったところ, SNSサービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人は第三者との情報共有について「認識している」と回答した割合が高く(1%有意), 逆に, 利用規約を「読んでいない」と回答した人は第三者との情報共有について「認識していない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。

Q. 収集された情報やデータが個人を特定できない情報であっても、収集先や共有先で御自身の個人情報に紐づけられて利用されている可能性があることを認識していますか。



があることを知っている方への質問

	認識している	どちらかといえ ば認識してい る	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば認識してい ない	認識していな い	横合計
必ず読んでいる	(人数) *** 74	*** 44	*** 9	** 7	** 2	136
	(割合) 54.4	32.4	6.6	5.1	1.5	100.0
サービスによって 読むときもあれば、 読まないときもあ る	133	*** 269	82	56	*** 12	552
	24.1	48.7	14.9	10.1	2.2	100.0
不明な点や心配 な点が生じた場合 のみ、該当箇所を 読んでいる	*** 43	93	** 46	30	*** 29	241
	17.8	38.6	19.1	12.4	12.0	100.0
読んでいない	** 30	* 62	26	** 27	*** 24	169
	17.8	36.7	15.4	16.0	14.2	100.0
全体	280	468	163	120	67	1098
	25.5	42.6	14.8	10.9	6.1	100.0

(セルに属する回答者が
30人以上の場合)

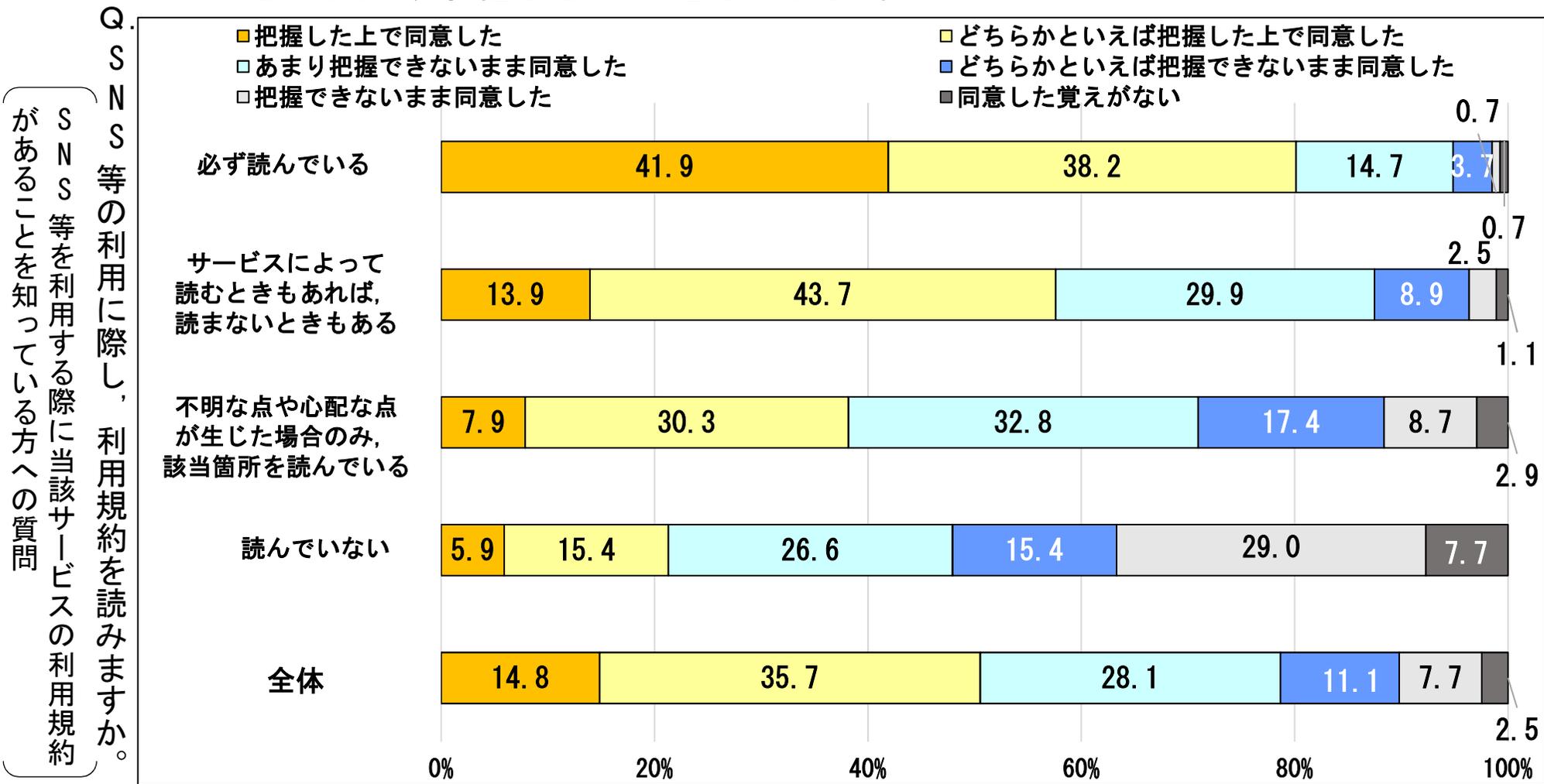


- *** 1%水準でプラスに有意
(人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意
(人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイ二乗検定を行ったところ、1%水準で有意 ($\chi^2=133.92$, 自由度12) であった。残差分析を行ったところ、SNSサービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人は個人情報に紐付けて利用される可能性について「認識している」と回答した割合が高く (1%有意)、逆に利用規約を「読んでいない」と回答した人は個人情報に紐付けて利用される可能性について「認識していない」と回答した割合が高い (1%有意) ことが明らかになった。

Q. SNS等の利用規約に同意する際、どのような情報が広告表示の目的の下に収集・利用されることになるか、把握した上で同意しましたか。



合算して分析

	把握した上で同意した	どちらかといえば把握した上で同意した	あまり把握できないまま同意した	どちらかといえば把握できないまま同意した	把握できないまま同意した	同意した覚えがない	横合計
必ず読んでいる	(人数) ***57	52	*** 20	*** 5	*** 1	*** 1	136
	(割合) 41.9	38.2	14.7	3.7	0.7	0.7	100.0
サービスによって読むときもあれば、読まないときもある	77	*** 241	165	** 49	*** 14	*** 6	552
	13.9	43.7	29.9	8.9	2.5	1.1	100.0
不明な点や心配な点が生じた場合のみ、該当箇所を読んでいる	*** 19	** 73	* 79	*** 42	21	7	241
	7.9	30.3	32.8	17.4	8.7	2.9	100.0
読んでいない	*** 10	*** 26	45	* 26	*** 49	*** 13	169
	5.9	15.4	26.6	15.4	29.0	7.7	100.0
全体	163	392	309	122	85	27	1098
	14.8	35.7	28.1	11.1	7.7	2.5	100.0

(セルに属する回答者が30人以上の場合)



- *** 1%水準でプラスに有意 (人数が多い)
- ** 5%水準でプラスに有意
- * 10%水準でプラスに有意
- *** 1%水準でマイナスに有意 (人数が少ない)
- ** 5%水準でマイナスに有意
- * 10%水準でマイナスに有意

分析結果

上記のクロス集計表についてカイニ乗検定を行ったところ1%水準で有意 ($\chi^2=298.16$, 自由度12)であった。残差分析を行ったところ、SNSサービス利用者において利用規約を「必ず読んでいる」と回答している人はどのような情報が収集されているのかを把握して同意したかについて「把握した上で同意した」と回答した割合が高く(1%有意)、逆に、利用規約を「読んでいない」と回答した人はどのような情報が収集されているのかを把握して同意したかについて「把握できないまま同意した」又は「同意した覚えがない」と回答した割合が高い(1%有意)ことが明らかになった。